

事業名 **セラミックアートセンター企画展開催事業**

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	基本事業	自主的市民文化 芸術活動の育成・支援
----	--------------------	----	-------------------	------	--------------------

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市民
意図	<p>・多くの市民(来館者)に利用してもらうことで、よりれんがとやきもののまち「江別」のイメージを広く共有し、市民の文化意識の高揚を図る。</p> <p>手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やきもののまち江別」を市民間に共有のイメージとして意識してもらうこと、また芸術文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品等の文化アートの鑑賞の場として企画展を開催する。 ・市内関係機関や道内外の美術館・博物館などにポスターやチラシ等を掲示する。

事業量・コスト指標の推移		区分	単位	21年度実績	22年度実績	23年度予算	24年度予算	目標
対象指標1	市民		人	122,568	122,138	122,138	121,705	
対象指標2								
活動指標1	企画展開催数		回	1	3	2	3	
活動指標2								
成果指標1	企画展入場者数		人	2,070	4,309	3,000	6,830	
成果指標2								
単位コスト指標								
事業費計(A)			千円	8,759	3,709	4,349	5,914	0
正職員人件費(B)			千円	5,394	4,030	4,888	4,856	0
総事業費(A)+(B)			千円	14,153	7,739	9,237	10,770	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)

平成24年度は、日本有数のオールドリタゲ蒐集家である若林経子氏のコレクションを借用展示することで日本の輸出陶磁器の黎明とリタゲの優美な世界を紹介する。本展は本市単独開催のため巡回展経費と比べ増額となるものの、単一の収蔵先から借用することで集荷返却経費が比較的抑制されるものである。このほか日本の工芸デザイン界をリードしてきた「(社)日本クラフトデザイン協会」の協力により、陶磁・ガラス・ジュエリー・テキスタイルなどの多様な工芸作品を展示し、アートセンター展示事業の新たな展開を図るものである。

24年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ24年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 22年度もしくは23年度に「休止」「廃止」「終了」する事業
- 新規 : 24年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			